

立命館大学BKCインキュベータの概要

立命館大学連携型起業家育成施設（名称：立命館大学BKCインキュベータ）は、中小企業等経営強化法に基づき、独立行政法人中小企業基盤整備機構が滋賀県および草津市から要請を受け、平成16年10月に、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内に開設した大学連携型起業家育成施設（インキュベータ）です。

立命館大学をはじめとした大学発の技術シーズの産業化を支援する施設であり、大学研究者による起業、大学連携により起業を目指す中小企業または第二創業を目指す中小企業などを支援しています。

◆特徴◆

当施設には、中小機構近畿及び立命館大学、草津市から派遣された事業化支援スタッフ「[インキュベーション・マネージャー](#)」が常駐しています。

また、中小機構近畿の専門家集団による経営・法律・技術・国際展開など各分野の相談・指導や、立命館大学BKC リサーチオフィスをはじめ、滋賀県、草津市、大津市、経済産業省および各支援施設等との連携により、新たな分野にチャレンジする企業や起業家の支援と育成をサポートします。

さらに、[中小機構のインキュベーション施設で唯一インターンシップ制度](#)があり、学生の若い発想を事業に活かすこともできます。

立命館大学 BKC インキュベータ 施設概要	
敷地面積	2, 602㎡
延床面積	2, 165㎡
施設構造	鉄骨造 地上3階建て
賃貸スペース	全30室 小規模試作開発可能オフィスタイプ（全23室、29～65㎡） 試作開発室タイプ（全3室、各100㎡） 実験室・研究室タイプ（全4室、45～65㎡）

<中小機構について>

中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業の様々なニーズに対し、経営アドバイス、共済制度、研修、ファンドを通じた資金提供など多様な支援メニューを揃えています。